

「楽しい&エコ」な暮らし、いっしょにはじめましょ♪



季刊

えこびと

第3号 2011春

特集： ^{きょうどう}「共働とは何か？」を考える
(チーム南家へのインタビューから)

定番コーナーも、絶好調♪

エコメン、み〜つけたっ

とよたのまちネタ紹介

会員突撃インタビュー

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ^{びと}プロジェクトが発行しています

チーム南家へのインタビューから

特集：『共働^{きょうどう}とは何か?』を考える

平成 22 年度豊田市共働提案事業の一つとして、エコ人の6人組活動グループ「チーム南家（以下、南家）」がエコドライブの出前講座を実施してきました。6回目の講座を終えた南家のメンバーから、率直な思いを聞きました。（レポート：小泉達也）

萩原喜之（ファシリテーター）：今日、南家の講座を初めて見た。想像以上に良かった。エコドライブの講習としても、市民性の表現としても良かった。チームワークが良く、気持ちが入っていた。この地域に市民（志民）が生まれ、まちへしみだしていると感じた。行政の職員に、「自分たちでは、こういう風にはできない」と言ってもらえたのは大きな成果。専門家のエコドライブ講演会だったら誰も聞きにこない。市民が担うことの良さを分かってくれたと思う。



チーム南家が同事業で製作したリーフレット（表紙）
講座と同様、市民ならではの「親しみやすさ」や「楽しさ」にあふれています

●南家は行政をどう思ったか？

南家：『共働』なら、自分たちだけでやりきれない部分もやれると思って手を挙げた。でも、共働への思いが大きく違っていた。

萩原：共働といっても、行政は市民への接し方に慣れていない。

南家：最初は話し合いが進まなかった。成果を出さなきゃいけないという焦りが、行政にはあるようだった。

南家：当初、「税金を使ってやるのだから」という言葉があった。「だから言う通りにやりなさい」、という圧力を感じた。

萩原：公平性を重視しようとして、行政は縛られている。

南家：苦しかった時期は、「始まったばかりの共働提案事業で、私たちが途中で投げ出したら後に道ができない」と思って踏ん張った。

小泉：今、市からの評価は高い。どこで評価が変わったか？

南家：講座を市担当者が見て、市が変わった。それと参加者の声。

南家：当初、行政の事情で、逢妻地区での取組みの中へ、南家が入るかたちになった。逢妻のテーマは交通安全、南家は「CO2削減とお財布にやさしい」エコドライブ。その溝を調整するのに、行政も苦労していたと思う。後半2回の講座は、私たちが伝えたい内容を強く打ち出して、思い通りにやらせてもらった。その様子を見て、行政からの評価がさらに高くなった。

南家：担当職員のみなさんは、休みの日でも、よく出てきてくれた。一緒に現場を過ごせたことが、お互いの理解につながった。

南家：講座の資料の中身など、細かい部分は私たちに任せてくれた。信頼してくれていたと思う。

●南家（＝市民活動）の原動力とは？

小泉：南家のやりがいは、エコドライブよりも活動の楽しさか？

南家：南家は eco-T の平成 20 年度地域インタープリター育成講座で生まれた。最初はテーマがはっきりしていない人の集まりだった。『私たち自身で何か伝えたい』という気持ちだけが、共通だった。

萩原：それが一番大切。それは、『自分たちのまちを自分たちで良くしたい』というのと同じ。だからこそ、ここまでやれたと思う。



●これからに向けて

萩原：これからを考えると、共働をどう表現していくかが大事。市民がやっているんだという面を、もって出していい。出演者のバックグラウンドを見せるとか、地元ネタを使うとか。

南家：南家の今後の活動は未定。集まる場がなくなるのは淋しい。一人じゃ絶対にここまで出来なかった。

萩原：市民性とはそういうもの。仲間がいて、活動が楽しいというのがにじみ出てくる。そういうものを、本当はみんな欲しがっている。第2、第3の南家が生まれてくるといい。

共働の意味を理解した行政職員から、行政の中へその意味を伝え広げていってもらえれば、今回の事業は大きな意味があると思う。

3月13日(日)、スカイホール豊田で「とよたエコドライブプロジェクト成果発表会」が開催されました。チーム南家も、今年度実施した逢妻地域で行った大人向け講習会、交通安全学習センターや高橋コミュニティセンターで行った親子向け講習会の一端を紹介しました。

発表後、鈴木公平豊田市長から、童心にかえったような笑顔で「楽しかったー！」とひとこと、感想をいただきました！

グループディスカッションで、お互いが刺激に

eco-T 市民会議を開催しました

2月26日（土）に、eco-T 市民会議を行いました。行政も、市民も、NPOも一緒になって活動を評価して次につなげていこうという会議で、年に1回開催しています。eco-T の運営では、運営にかかわろうとする「私たち」が決めるということを大事にしています。

はじめに市からひとことあいさつをいただいた後、事務局から今年度の事業について手短かに報告しました。

会議の後半は、グループディスカッションです。セッション1のテーマは「今年度の活動のふりかえり」。セッション2では、話し合いたいことを会場のみなさんから募ったところ、「エコットキッズタウン」「小学生とのかかわり方」「運営会議」「ごみ減量」「バス研修」「再オープンに向けて」の6つのテーマで話し合いが進みました。



会議後の感想では、こんな意見がありました。

「いろいろな人の考えが聞けて楽しかった」

「やっぱり同じ悩みや考えを持っているんだと気づいた」

「これまで積極的にかかわったことがなかったと改めて気づいた」

「アイデアがいっぱい湧いてきた」

みんながそれぞれに新しい経験やチャレンジを積み重ねていることがわかり、お互いに刺激をもらえて、とっても楽しい場になりました。グループで深く話し合うことや、みんなの前で発表することも、いい練習になったようです。「来年度も楽しくがんばるぞ!」とみんなが思える貴重な機会となりました。

「幸せの連鎖」で、地域を活性化！

エコメン（エコなイケメン）、み〜つけたっ（第2回）



今回のエコメン♪

西野兼二さん

王滝石産有限公司 代表取締役
豊田市商店街連盟 副理事長

石の自給率は…

石屋（石材業）に入り 23 年ほど経ちますが、その頃から石は外国産のものを使うようになっていきました。現在の日本の石の自給率は 10%程度です。今後、自給率を上げていかなくてはいけないし、石に限らず『地産地消』に取り組んでいくことが明るい未来につながるんだと思います。

動く博物館！？

趣味で、クラシックカーを2台持っています（ダイハツのミゼットとトヨタのパブリカ）。そのうちの1台は、映画『黄色い涙』でアイドルグループの嵐と共演(?) したんですよ。愛着もあり、なかなか手放せないんです（笑）。歴史的資産を個人で保有しているわけですが、実際に走っているところをみんなに見て楽しんでもらえたらうれしいです。



人を怒ってしまった日はなかなか寝つけません(笑)

親と子、上司と部下、同じ志をもつ仲間・・・人のつながりのなか

で、『優しさ』がとても大切だと思います。優しさといっても甘やかしてではなく、『思いやり』や『人につくすボランティア精神』。ときには怒ることも必要ですが、そんな日はひたすら自己反省。やっぱり、人には優しく！優しく！優しく！してあげたいし、それはとっても素敵なことだと思っています。

楽しみながらできるエコ

豊田市の商店街が環境に配慮したお店になろうと『エコ商店街宣言（平成 19 年）』をする少し前から、個人的にもエコに取り組むようになりました。マイ箸を持ち歩いたり、古紙をリサイクルに出したり、牛乳パックは開いてまな板にしています。マイ箸をカピラせたこともあります（笑）、少しずつだけど、楽しみながらできるエコに取り組んでいます。

なんごうに(ゆるやか〜に)いこまい♪

夢は豊田市をウォークブルタウンにすることです。まずは、地域各所に核となる場所をつくるのが大切。車がなくても、歩いて行ける範囲で用事が済んでしまうコンパクトな“まち”が理想です。人が歩くと自然と“まち”もにぎやかになるんですよ。みんなの幸せが連鎖して、地域がどんどん活性化されたらすばらしいですね。

（エコメンチーム：栗野理絵、長嶋一枝）

取材を終えて・・・

飾らない自然体な西野さんの人柄なんですか・・・初対面でも親しみやすさを感じました。息子さんを3人お持ちのやさしいイケダン（イケてるダンナ）でもあり、お話の中で横文字がたくさん飛び出す洋風な石屋さんでもあり・・・豊かな話題で楽しませてもらいました♪

楽しくて、魅力いっぱい「はしご酒」

とよたのまちネタ紹介 第2回

3月初旬に、通算 4 回目となる「とよた西町はしご酒」がありました。私はこれで 3 回目の出席です。いつものメンバー+ゲストと一緒に回った「はしご酒」は、今回も“パーフェクト”でした。北風が吹き、まだ寒さが残るなか、今回は7軒回らせていただきました。



この「はしご酒」は、5枚1組3,000円のチケットを購入し、各店で一杯&一品をいただくことができます。一杯飲んで歩く、そしてまた一杯と重ねていくと、最後のほうにはフラフラになってしまいます。加えて各店の選りすぐりの逸品が素晴らしい。どのお店も、売り上げは大丈夫かな、と少し心配になってしまうくらい、豪華な内容となっています。本当は全店回りたいのですが、今回は7軒でギブアップ、中には10軒以上回る強者もいます。



まず始めに行ったお店は豆腐です。ここで既に「はしご酒」を回り始めていたメンバーと合流し、「かんぱーい」の掛け声でスタートとなりました。小皿に分けられた一品料理に舌鼓をうっていると、別のグループで回っている友人がお店にやってきました。「はしご酒」の魅力の一つは、飲んでいるお店で友人と出会うこと。

出会った後に合流して一緒に次のお店に行くもよし、ここでは一旦分かれてまた街角で出会うもよし。「どのお店行った？」と情報交換し、次のお店を決めるなど会話がはずみ、「はしご酒」の楽しさが加速していきます。

次の魅力は、今まで行ったことのなかったお店に気軽に行けることです。「あの店なんだろう？」とか「あの店は敷居が高そう」と思っていたところにも、「はしご酒」なら気軽に行くことができます。今回はたくさんのお店を開拓しちゃいました。

最後の魅力は、豊田市の駅前が身近に感じられることです。いつも通勤で通っていた道、買い物で通る道に愛着が湧いてきます。

「はしご酒」の日は、車の町である豊田市駅前にたくさんの人通りができます。昔の商店街のにぎわいが戻る日が、「はしご酒」の日なのかと思います。次回も楽しみです。

(竹内尚人：豊森なりわい塾第1期生)



冬はやっぱり、お風呂とおいしいスープかな？

会員突撃インタビュー（第2回）



今回のゲストは、伊吹あゆみさん。eco-Tのオープン時から事務局スタッフとして働き、今は『トヨタの森』のインタープリターとして活躍中です。そんな伊吹さんの「今」をお聞きしました。

Q. はじめに、伊吹さんの趣味は何ですか？

A. 今は、竹細工です。三州足助屋敷で講座を受けて、なべ敷きを3つつくりました。マイ鉈（なた）も買ったんですよ。細工用の材料の竹ひごづくりで、2mmの厚さの竹を0.5mmの4枚にする作業が難しいです。

竹細工は、大学生のころから、いつかやってみたいと思っていました。自由で型のないもの、例えば絵画とかは、どう入っていけばいいかわからないって思っちゃいますけど、竹細工には基本的な型があって、技術を習うことから始められます。つくっているときは、周りの音が聞こえなくなります。没頭できて楽しいというか、充実感があります。

Q. 心に響いたことや、感動したことを教えてください。

A. 先日、『夜の虹』を見たことです。その晩はおぼろ月夜で、なんだか無性に月が気になって、何度も見上げていました。そうしたら夜中に、満月の周りに虹がかかっていて、びっくりしました。最近、

空はいいなって思います。

それから、『子どものパワー』。今働いているトヨタの森では、子どもたちと直接ふれあうことができます。子どもはスゴイ。その一生懸命さや表情の豊かさに、感動します。

Q. 伊吹さんがほっと一息つける場所は？



A. 冬はやっぱり、お風呂です。湯船につかって、「ふう〜っ」てするとすごく安らぎます。それから、おいしいスープをすすっているとき。汁物はなんでも好きで、自分でもつくります。かつおだしの和風スープが一番好きかな。けんちん汁や、他にもいろいろつくりますよ。

Q. eco-T の経験で、今に活かしていることはありますか？

A. eco-T で働いてみて、仕事ができない自分を知ることができたのは、とっても大きかったです。それから、事務局（裏方）を経験したことで、現場目線だけでは得られない物事の見方が、少しだけですが、身についた気がします。

Q. 今の eco-T やエコ人に、ひとことお願いします。

A. eco-T は、ボランティアも参加者も講師も、いつもいろんな人が関わって、新しい動きを生み出そうとしていて、すごいと思います。その半面、みんな忙しくなりがちだと思うので、いっぱいいっぱいにならずに、楽しく活動して欲しいです。

<インタビューを終えて・・・>

いつも明るく、一生懸命な伊吹さん。今もそのままの伊吹さんで、パワフルに活躍中の様子で安心(?)しました。伊吹さんの笑顔に会いたくなったら「トヨタの森へGO!」ですよ〜。

(会員突撃チーム：野武審・岩月桂子・小泉達也)

●主な活動記録一覧①（1/1～1/31）

1月

- 5日 eco-T 仕事始め
- 14日 eco-T 運営会議
- 16日 エコドライブ市民を増やす取り組み
豊田市交通安全学習センター出前講座（チーム南家）
- 17日 とよたエコドライブプロジェクト実行委員会
- 19日 平成22年度展示製作ワークショップ
- 22日 2010年度第7回「とよたNPO大学」にて 事例紹介
豊田市内の企業の社会貢献について
- 23日 エコトーク第5回
「カンタン【エコ菜園】から食卓を考える」
- 28日 愛知県環境学習施設情報交換会
- 29日 豊森なりわい塾 成果発表シンポジウム
（会場：豊田市産業文化センター）

みなさんからいただいた「新年の抱負」をご紹介します♪

エコ人の益々の広がりを楽しみます（Tさん）

一步一步漸進：少しずつ進む（Tさん）

今年はeco-Tが少し暇になるので、

『小引き出し』整備の年かな（Aさん）

今年は笑って人生を楽しみます（うさぎ年のMさん）



3月19日（土）、20日（日）の2日間、とよたまちパワーフェスタ2011のエコット広場にて、東日本大震災の義援金を募りました。来場者や出展関係者から62,546円の寄付をお預かりしました。

このお金は、エコ人とNPO法人矢作川自給村稲穂の里との連名で、『被災された方々の生活再建を応援するためのボランティア活動への寄付』として、NPO法人レスキューストックヤードに3/25に送金しました。

協力して下さったみなさま、ありがとうございました。

●主な活動記録一覧②（2/1～3/31）

2月

- 3日 第20回、第21回（2010年度7回、8回）理事会
- 4日 eco-T 運営会議
- 4日 展示解説ボランティア育成講座 修了式
- 5日 公共の担い手塾第6回 参加
- 6日 とよたこどもエコクラブ 交流発表会
（会場：豊田市自然観察の森）
- 10日 環境学習コーディネーター育成講座 修了式
- 13日 かえっこバザール開催
（会場：ナゴヤハウジングセンター豊田会場）
- 16日 新規事業検討会（エコ人）
- 20日 エコドライブ市民を増やす取り組み
高橋コミュニティセンター出前講座（チーム南家）
- 20日 エコトーク第6回
「【脱温暖化】のための森づくり・まちづくり」
- 26日 eco-T 市民会議

→ P.5 参照

3月

- 2日 第22回（2010年度9回）理事会
- 2日 豊田市環境学習施設連絡会
- 4日 eco-T 運営会議
- 7日 とよたエコドライブプロジェクト実行委員会
- 11日 エコ人新規事業「緑のカーテン」チーム 企画会議（16日も）
- 13日 とよたエコドライブプロジェクト 成果発表会
チーム南家の活動報告
- 19日 かえっこバザール開催（20日も）
（とよたまちパワーフェスタ 2011 SPRING にて）
- 21日 永覚新町こども見守り隊 出前講座（永覚区民会館）
- 23日 共働事業評価会 ～くるま座トーク～
エコドライブ市民を増やす取り組み（チーム南家）
- 30日 平成22年度展示製作ワークショップ 新展示発表会
- 31日 平成22年度 eco-T 学習事業終了
- 31日 季刊えこびと第3号発行

→ P.4 参照

→ P.6 参照

●おすすめイベントの紹介&参加者募集（1月～3月）

日時	内容など
4月26日（火） 5月24日（火） 6月28日（火） 7月12日（火） 10:00～12:00	green maman（グリーンママン）の朝市 豊田市近郊の若手農家さんを中心に、皆さんに安心して食べて頂けるものを提供しています。他に、スイーツ、パン、手作り小物等もあります。日々の暮らしの中で、幸せを感じるお気に入りを見つけてもらえたら嬉しいです。 守綱寺主催の絵本の読み聞かせ会も同時開催ですので、是非お子様連れで遊びにいらしてください。 ●場所：守綱寺（豊田市寺部二丁目） ●問合せ：宇角（うかく） ukackey@yahoo.co.jp
4月13日（水） 4月26日（火） 5月11日（水） 5月26日（木） 10:00～12:00	エコ・キッズスペース 未就園児の親子を対象とした、親子遊びと環境のことをちょっと学ぶ、ふれあいスペースです。一組でもお友達同士でも、お気軽にご参加。 ●内容&場所：各回で異なります。詳しくはeco-Tまでお問合せください。
4月15日（金） 10:00～11:45	eco-T 運営会議 毎月1回、eco-Tの運営を考える会議です。先月の活動のふりかえりや今後の活動の相談、インタープリターの情報交換を行います。どなたでも参加できます。 ●場所：eco-T ●対象：eco-Tの運営に関心のある方 ●その他：場内の駐車場は停められません。詳細はお問合せください。
5月8日（日） 10:00～12:00 申込は4/19（火）～ eco-Tまで	もった博士の「かがく倶楽部」 ～おもりのはたらき～ 「カ」ってなんだろう？ やじろべえやヨットを作って考えます。 ●参加費：一人500円（材料費） ●場所：上郷交流館 学習室 ●対象：小学生以上（大人の方の参加も歓迎） ●定員：15名
5月8日（日） 12:30～15:00 申込は4/19（火）～ eco-Tまで	エコットクッキング ～男の料理 基本編～ 環境に配慮した調理法を学びながら、ご飯、主菜、スープの3品を作ります。 ●持ち物：マイ箸、マイカップ、エプロン、布きん ●場所：上郷交流館 調理室 ●対象：大人の男性（特に60才以上） ●定員：10名 ●参加費：一人300円（材料費）
6月4日（土） 10:00～16:30	環境フェスティバル ～くらしと自然のつながりを知ろう～ （豊田市市制60周年記念行事） 豊田市自然観察の森（新ネイチャーセンター）1周年と、eco-Tの4周年を記念したイベントを開催します。 ●内容：オープニングコンサート、田植え体験（40名）、森歩き、パーパークラフトのほか、eco-Tからはインタープリターがエコ体験ブースを運営する「エコ屋台村」も出展します。お楽しみに！ ●場所：豊田市自然観察の森（東山町4丁目1206-1） ●駐車場：当日は、観察の森の駐車場は利用できませんので、臨時駐車場（東山小学校）または公共交通機関「おいでんバス」をご利用ください。 ●その他：詳しくは、広報とよた5月1日号をご覧ください。

「green mamanの朝市」以外の

講座等のお申込み・お問い合わせは「eco-T事務局」まで

TEL：0565-26-8058

会員からのお便りコーナー

eco-Tで3年間、スタッフとして関わった「やすみん」こと安宮さんが、地元三重でまち歩きを取り組みを始めたそうです。寄せられたお便りをご紹介します。

歴史ある建物や風景といった「有形」のもの、人の想いやまちに息づく魂のような「無形」のもの・・・これらはすべてまちの財産なんじゃないだろうか。そんな想いで始めたのが今回のまち歩きです。eco-Tでの経験も総動員してつくった企画です。いろんな世代・地域の人たちが交わることで、まちの新しい未来が見えてくるんじゃないかと期待しています。

「まち歩き」から始まる「まちづくり」。4月からは月イチペースでがんばりま～す！（安宮）



問合せ先 株式会社地域資源バンク NIU（ニウ）

電話 0598-49-4800 Eメール niu-info@ma.mctv.ne.jp

Twitter アカウント (niu_machiaruki)

※このコーナーでは、みなさんからのお便りをお待ちしております！

** ** * * * * * * * * * *

情報募集：エコな飲食店を紹介してください♪

エコな飲食店の情報を大募集！ みんなでおいしく食べ歩いて、「飲食店のエコ」をゆるやか～に調べていきたいと思います。お店の名前と場所、何屋さんか（和食、洋食、居酒屋、喫茶店など）、そのお店のどんなところがエコか？を、わかる範囲で教えてください。

ゆくゆくは、「とよたエコ・ミシュランガイド」をつくれたらいいな～と思っています。の～んびり楽しみながら進めていく予定です。

同封の「紹介シート」に記入してFAX、またはEメールでお願いします

会員のみなさま(2011年3月25日現在)

●正会員 伊吹あゆみさん、岩月桂子さん、上田有美さん、恩田百合子さん、河合志郎さん、栗野理絵さん、小泉達也さん、小泉由美さん、小泉洋子さん、坂本竜児さん、杉浦清美さん、杉山佐由紀さん、田上治さん、谷口功さん、谷口陽子さん、種子田寛郎さん、中川恵子さん、長嶋一枝さん、野武審さん、萩原喜之さん、福岡陽子さん、松浦貴子さん、南谷五郎さん、村井孝一さん、山口重春さん

●賛助会員 青山克巳さん、赤坂洋子さん、芦辺由岐子さん、粟津銀治さん、板倉三枝子さん、井藤伸比古さん、江口進さん、奥村紀美さん、落合ひろ恵さん、神谷ゆう子さん、後藤美代子さん、後藤康江さん、澤田高和さん、山東光子さん、柴田孝子さん、杉浦輝雄さん、種子田雅子さん、法島準子さん、早川美代子さん、伴在慶一郎さん、本多慶子さん、南義人さん、宮島芳枝さん、村田紫帆里さん、村松里子さん、安宮勝之さん、吉田香さん、特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会



**入会&継続
ありがとう
ございました!**

**現在の会員数は
52名、1団体です**

会員募集中(随時受付)

あなたもエコ人メンバーになりませんか?

正会員 10,000円(議決権あり)

賛助会員 一般 1,000円/口

学生 500円/口

営利団体 10,000円/口

非営利団体 3,000円/口

編集後記

編集期間中、東日本大震災のニュースに釘付けでした。被災地の様子を見て、「人のつながり」や「お互い様」と助け合うことの大切さを改めて強く感じました。みんなに笑顔が戻る日が、1日でも早く訪れますように。(小泉た)

発行・編集 ^{ひと}NPO法人 とよたエコ人プロジェクト

FAX 0565-42-2805

2011年3月発行

メール info@t-ecobito.jp

ブログ <http://blog.canpan.info/eco-bito/> ←理事のつぶやきなど

連絡先 TEL(スタッフ勤務先) 0565-26-8058

【豊田市環境学習施設 eco-T(エコット)】

エコットのホームページ <http://www.eco-toyota.com/>

私たちは豊田市から委託を受けて、環境学習施設 eco-T(エコット)を運営しています